

I Love Churui

I ♥ ちゅうるい

1

2018 Vol. 512



平成30年 元旦

新年あけましておめでとうございます。

今年は作物が実り、皆様が健康で豊穡の出来秋を迎えられますようご祈念申し上げます。



<http://www.ja-churui.com>

Contents

年頭の御挨拶		
J A 忠類代表理事組合長	多田 智	2
年頭の御挨拶		
J A 北海道中央会会長	飛田 稔章	4
年頭の御挨拶		
J A 忠類青年部部長	東口 雄次	5
千支の人々		6



年頭のご挨拶



代表理事組合長

多田 智

新年明けましておめでとうございます。

新しい年を皆様と共に迎へ、気持ちも新たに新しい目標を持って望んで行きたいと思
います。昨年の当地域の農業は酪農では一
昨年飼料不出来の影響を受け、前半は前
年をかなり下回る状況で推移しましたが後
半になって持ち直しほぼ昨年並みになるも
のと思われれます。又肉牛等に於いては、昨
年に引き続きの高値で推移し良い結果を残
す事が出来ました。又畑作物、飼料作物に
於いては好天に恵まれ昨年作以上に成りま
したが、一部コーンに於いて台風の影響を
受け倒伏し収穫に難儀をしました。

3年前から始めた大根及び今年からス
タートした長芋も順調で補完作物として充
分期待が持てます。

農協全体では昨年を上回る豊作となるも
のと思われれます。その事を皆で分かち合い
喜び会いたいと思います。

ひとつ心配なのは温暖化等による気候の
変動で台風の襲来や、長雨や大雨の被害が
連続し、今後は作目や品種の選定を変えて
いくとか、播種時期を含め栽培パターン
の変更も起こり得るかもしれません。

順調にきたかに見える当地域の農業や農
協運営も時代の変化と、世代交代の影響を
受け色々とひずみや、ひび割れが目につく
ようになり、農協組織としての存在意義も
軽んじられ、組合員個々の意志集約が難し
くなる場面も散見されるようになりまし
た。

個人主張が強くなり、相手の意見に耳を
貸さない人達が増えていきます。

経営規模が拡大し家族経営から法人経営
に移行する人も増え、間違いなく農協組織
も転換期を迎えていると思われれます。

政府もTPPやEPA等のグローバル化
の進展に伴い国際的に通用する農業の構築
に合わせ、規制改革会議等で非常に厳しい
議論が進められております。どうやって国
際化時代に通用する組合員を育てていく
か、そして農協の果たす役割は何なのか、
特にこれからを背負う若い世代が十分に議
論を進め方向性を示して行く事が大切と思
います。

一方で農協の基本である相互扶助、協同
による助け合いの考えかたをないがしろに
したり、無視するようなことがあつてはな
りません。

又組合員の少ない当農協に於いては新規
就農者の確保育成は重要な課題であり、そ
の新しい仲間を支えていく仕組みも必要で
す。新しい年を迎え新しい気持ちで新しい
時代を切り開いて行きたいと思います。今
年も昨年に増しての良い結果を残し皆様と
共に豊穣の出来秋を祝い会いたいと思いま
す。



謹賀新年

代表理事組合長	多田 智	J A 忠類酪畜協議会	会長 渡邊 靖之
組合長職務代理者	山田 学	J A 忠類酪農部会	会長 渡邊 靖之
理事	蛭原 一治	忠類和牛改良組合	組合長 高橋 一男
理事	菅野 能稔	J A 忠類畑作協議会	会長 芹澤 勇治
理事	杉本 直幸	J A 忠類豆麦部会	会長 石黒 一郎
代表監事	菅原 正幸	J A 忠類甜菜馬鈴薯部会	会長 芹澤 勇治
員外監事	谷内田幸二	J A 忠類百合根耕作組合	組合長 野村 進
監事	杉坂 弘之	J A 忠類特産物生産組合	組合長 東口 政秋
参事(理事)	山内 信博	J A 忠類大根生産部会	長谷川 旭
金融部長(理事)	五十嵐 勉		
管理部長	山根 芳博		
営農部長	渡辺 修二		
経済部長	木村 勝敏		
	外職員一同		

本年もどうぞよろしく
お願いいたします。



J A 忠類青年部
部長 東口 雄次
(敬称は略させていただきます)

ストップ！農作業事故

農閑期にやるべきこと(2)

人間工学専門家●石川文武

農閑期とはいえ一度も田畑に出向かないことはないでしょう。地域によっては、積雪で表面が見にくいこともあるかもしれません。春作業を始めるときに、修繕や機械修理から始めなくてもよいように、比較的時間のあるこの時期に作業者自身の点検とともに、機械や環境の点検整備も行いましょう。

機械では、過去の点検整備の実績を参考にして、消耗品の交換タイミングの判断・実施を自分で行います。重要部分の点検は整備工場にお願いしましょう。大型特殊自動車に該当する機械では、車検の時期が農繁期と重ならないように調整して実施しましょう。

刈り払い機やコンバインなどの刈り刃は欠損や割れなどを丁寧に調べ、必要な処置をしましょう。機械が動いていなくても刃のある部分だけが

をしやすい場所でもあります。取り外しには注意を払うとともに、グラインダーなどを使用するときは、ゴーグルを使って目の保護に配慮し



てください。点検のために取り外した安全装置類は必ず元通りに取り付けてください。緊急停止装置の作動確認も同時に行います。コンバインや脱穀機では、ネズミやヘビが入り込んでいる場合があります。駆除とともに、ケーブル類がかじられていないか点検しましょう。

冬になると落葉樹は葉を落とし、見通しが良くなります。しかし、初夏を過ぎると葉が茂り、交差点や果樹園などでは見通しが悪くなり、思わぬ事故の原因となります。あらかじめ剪定(せんてい)しましょう。

水田への進入路の点検も必要です。作業機の幅よりも広くなっていますか？ 傾斜がきついと感ずることはありませんか？ 路肩部分が崩壊しかかっていますか？ 水路に架けた木製の橋が腐っていますか？ 段差のある農道では路肩を踏み外さないようなガードレールや標識を設置していますか？ 個人では処置できないこともあります。地域で協力して安全確保の行動を取ってください。

か？ 段差のある農道では路肩を踏み外さないようなガードレールや標識を設置していますか？ 個人では処置できないこともあります。地域で協力して安全確保の行動を取ってください。



平成三十年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成三十年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことから農作業・生育も順調でありました。九月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に九月十八日の台風18号によって、全道的にデントコーン・水稻の倒伏、農業施設の損壊などにより、農作物の品質、収量に懸念が生じたところでした。

しかしながら、結果的には、米は、作況指数が103の「やや良」、小麦・てん菜は、収量・品質とも平年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた一年となりました。

平成二十八年九月に四つの台風の影響によ

り、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではありますが、昨年元旦に新聞紙上で意見広告を行った『それでも種をまく。』という農民魂のもと、JAグループ北海道は着実に前を向いて歩んで参ります。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国との貿易交渉など、その進展状況と合意内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わっていないこともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念されるところです。

農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に追われた一年でありました。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第二十八回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っている

ところであり本年はその総括年度となります。

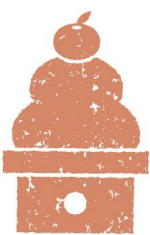
昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と550万人サポートづくり・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催しました。引き続き、JAグループ北海道の英知を集め、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、今年の干支は戊戌（つちのえいぬ）です。

一説には、戊は、「茂」に通じる意味があり、「植物の成長が絶頂期にある状態」を表しているとのことであります。

今年は、この戌年にあやかり、天候に恵まれ実り多い豊穰の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。



青年部活動を振り返って



JA忠類青年部部长

東口雄次

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、日頃より青年部活動に対しましてご理解とご協力を賜り、青年部を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。

また、盟友の皆様におかれましては、日頃より青年部活動に参加・協力していただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、九月に上陸した台風の影響により多くの圃場でデントコーンが倒伏し、サイレージ品質への影響が心配されていますが、台風を除けば、天候も良く畑作物を中心に良い一年となりました。昨年の青年部活動を振り返りますと、組合員のサポートを目的とした農薬の空き容器回収や、地域活性化を目的とした「どんとこい村まつり」の出店ではバター作り体験とホットココア・コーンスープの販売を行いました。大晦日には忠類神社の夜を彩るアイスキャンドルの作成・設置を行いました。

管外視察研修では福岡県にあるベジフルスタジアム、熊本県にある松島牧場、衛藤

牧場、熊本地方卸売り市場を視察致しました。

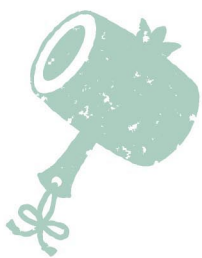
さて、今年の「アイスキャンドル」皆様は、ご覧になられましたか？今年のアイスキャンドルは、従来のロウソクからLEDランプへ変更致しました。「近代的になったと感じましたか？」または、「ロウソクの方が良かったと感じたでしょうか？」今回の変更にあたっては、二つの理由がありました。ロウソクの価格が高かった事と、部員の労力負担を減らす為です。現在、青年部は、部員の減少や各農場の経営基盤の拡大等もあり、部員個人の負担が増えています。



毎年実施している農薬空き容器回収

そのため、代表的な事業でもある『保育所のふれあい動物広場』と『小学校の農業体験事業』も取りやめました。今後の食育活動の発展を考え、事業を継続したい思いがある反面、園児への安全確保や小学校農場の整備等問題もあり、大きな事故などが発生する前にと考え止めることと致しました。また農薬空き容器の回収についても、従来の回収方法から変更させて頂きました。皆様には、ご迷惑をおかけしている面もあるかと思いますが、農業を取り巻く情勢が激しく変化するなか、青年部のあり方や事業内容も見直す時期にきているのではないかと強く感じた一年でありました。

一年間、青年部活動を円滑に遂行出来たのも、青年部員をはじめご家族の方や各関係機関の皆様方のご理解・ご協力の賜物であり、改めて厚く御礼申し上げます。最後になります。今年も天候に恵まれ豊稔の秋を迎えること・皆さまが健康でいられることをご祈念申し上げます。また今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





干支を迎えて



中当
高橋 剛



梶内
大澤 慶博

干支を迎えて

『皆様明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申しあげます。』

満天の星空、キュッキュツと雪を踏む音、凜とした空気の中、今年で六〇になるのだと思ひながら牛舎の引き戸を開ける。白いもやが、一瞬立ち込める。

搾乳牛をホールディングエリアに研修生と追いながら今まで苦勞も失敗も多くしたなど昔を思ひ家族と良くやつて来たなど、今更ながらに、嬉しかつた事とか楽しかつた事よりなつかしく思ふ。学習能力が無い人間なもので幾多の失敗、苦勞をしたが、それで今の自分、家庭があるのだと思ふ。やはり歳をとつたのだから世の中の流れが日々早く感じる。でも心の中では若い人・時代の流

れ、世の流れに付いて行こうとする自分がいて。それでネットや放送媒体だとか幅広く見聴きしているこの頃である。

木を見ながら森を見る様に物事を一方の方向で見るのではなく、幅広く見ていこうと思つている。これからも、多くの失敗や苦勞をするだろう。

そして、又振り返り懐かしみ楽しみながら生活して行くだろうと思ふ。

十勝の春は遅いけど、それだけ素晴らしい。日高山脈の雪解けと同時に新緑の中に花が咲き始め、トラクターで耕した土のにおい、牛が放牧地に放たれ若草の匂いがして…。

顔を霜で白くした牛がパーラーに入るのを見ながらふと思ふ。末筆ではありますが、今年も皆様には希望に満ちた良い年であります様お祈り致します。

新年明けましておめでとうございます。新年を迎え、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今年で四回目の干支を無事迎えます。『もう四十八歳あゝはやいなあゝ』とつくづく感じます。

昭和から平成に年号が変わる時に就農し、社会においても、農業においても目まぐるしく変わっていく、激動の時代に我が家も『繋ぎ牛舎での牛の管理・搾乳』から『フリーストール牛舎新設から増頭に伴う入れ替え搾乳へ』そして数年後に『ロボット施設増設』と投資を進めていきました。その間、農協・普及センター等関係機関に相談・融資など大変お世話になり、アドバイスを頂きました。

飼料収穫作業についても、コントラクターへ委託するようになりました。また、当地域で『青雲TMRセンター』を設立し、構成員皆で協力し合い、『地域の課題』、『これからのあり方』等総合的に話し合い目標に向かって進めております。

TMRセンター設立により、労働負担の軽減が図られ、経営にとって重要なものになっております。

ロボット搾乳、パソコンの導入により『デジタル化』が進んでおりますが、生き物を飼う『酪農』は、『日々の管理や観察の徹底等』『アナログ』でなければならぬと最近つくづく感じ反省しています。

人も牛も健康で、健全な酪農経営を目指し、頑張りたいと思ひ、新年にあたり気持ちを引き締めていきます。

最後になりますが、今年一年家族が健康で、皆様も豊穰の秋を迎える事ができますようご祈念申し上げます。

干支を迎えて



日和
菅野 年泰

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私が就農してから早いもので十七年が経ちました。就農当時、今でもはつきりと覚えていることはこの農協だよりに書かせていただいた将来

の目標です。

それには、「良い体型の牛と高い能力を持った牛を作っていきたい」です。

当時は近所の先輩達と忠類品評会に出陳したり、十勝共進会に泊まり込みで参加したりしていました。

とにかく良い牛を作りたい一心で暇さえあれば種牛のブルブックを読みあさり、牛好きな仲間と「あの種が良いらしい」「アメリカやカナダではこの種が人気らしい」などと語りあったものです。

今でも「良い牛を作りたい」という気持ちは変わってはいません。

当時の自分が今の菅野牧場の牛を見てどう思うかはわかりませんが…。

今現在は牛の事は勿論ですが経営について考えることが多くなってきました。

就農してから色々な酪農家さんの話を聞き色々な勉強をしました。分かったことは乳を搾ることに対してアプローチの仕方は沢山あること。答えは一つではないということです。

自分にしかできない個性を出した経営者になりたいと思っております。日々精進です。

最後になりますが、本年も皆様が豊穣の秋を迎える事ができますようにご祈念を申し上げます。

干支を迎えて



西当

小室洋輔

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

早いもので、私が新規就農してから今年で五年を迎えることとなりました。酪農とは縁のない生活をしてきた私が自衛隊を退職し、忠類で酪農家になるとは思いもしませんでした。仕事をはじめたばかりのころは農業用語も分からなかったり大変な事がたくさんありましたが、家族、青年部の仲間、農協職員の方々のサポートのおかげで無事に五年を迎えられたのだと思います。

放牧酪農というほかの酪農とは少し違う環境ではありますが、お互いに切磋琢磨し、より良い牛乳を生産して忠類の魅力を全国の消費者に届けていけたらいいなと思っております。

これからも沢山の方にご迷惑をお掛けしたり、ご指導いただいたりすることもあると思いますが、自分自身の経営形態の確立を目標に全力で邁進していきたいと思えます。

三人の子ども達にも恵まれ、長男は野球とスケート、娘はスケートやバトントワリングなどスポーツに励んでおり、自分の頃両親にしろもらっていた事を思い出し両親の偉大さを感じています。

干支を迎えて



東宝

黒坂瑞枝

新年あけましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。早いもので、忠類に帰ってきて今年で十一年目を迎えることとなりました。

小さい頃から家の酪農業も手伝いもせずスポーツに励んでいた私は、忠類に帰ってきて酪農の仕事に就くとは思っていなかったの両親がどのように農作業をしているのか経営はどうなっているのかなんて全く気にした事ありませんでした。

結婚して夫と一緒に忠類に帰って来た頃は、酪農未経験の夫よりも無知で何も知らない自分がいました。

末っ子が保育所に入園するまでは育児に専念させてもらい数年前から搾乳などの作業に、参加するようになりました。

仕事に参加しながらの育児はなかなか大変な面もありますが、両親や子ども達、そして忠類と一緒にきてくれた夫に支えられ協力してもらいながら頑張っています。まだまだ酪農について知らない事ばかりの私です。家族や周りの方々には迷惑をかける事が多いかと思いますが日々勉強の気持ちで今年も一年頑張っていこうと思います。

最後に、本年も皆様にとつて幸多い年となりますようご祈念申し上げます。

お知らせ

ご協力頂いております子供達の掲載文につきましては編集の都合により次号とさせて頂きますので、楽しみにお待ち下さい。

平成29年度 国産オールディーラー JAくるまつり

期間中のみの特別条件をご用意!



COROLLA トヨタカローラ帯広(株)



TOYOPET 帯広トヨペット(株)



(株)ホンダカーズ帯広



十勝三菱自動車販売(株)



帯広三菱自動車販売(株)

期間 平成29年12月1日(金)~
平成30年2月12日(月)

ご成約特典
120万円以上のご成約で **道産米10kg!**
120万円未満のご成約で **道産米5kg!**
※金額は車両本体 税込価格に基づきます。 **プレゼント!!**



帯広スバル自動車(株)



東北海道いすゞ自動車(株)



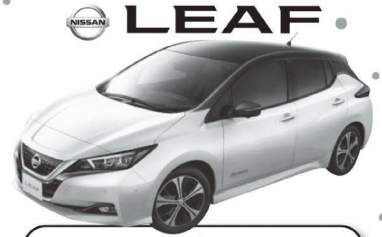
北海道マツダ販売(株)



NETZ ネットヨタ帯広(株)



TOYOTA 釧路トヨタ自動車(株)



帯広日産自動車(株)



北北海道ダイハツ販売(株)



帯広スズキ(株)

17th
ニューイヤーモーターショー
新車&中古車 inとがち
新春 展示会
会場:アグリアリーナ
(音更町音更西2線9-1)
2018.1/27(土)・28(日)

●十勝管内農業協同組合
ホクレン帯広支所

お問い合わせ・お申し込みは
JA忠類 ☎01558-8-2311
自動車担当窓口まで